

|          |                 |          |          |  |
|----------|-----------------|----------|----------|--|
| ビジネス法学入門 |                 | 講義       | 教授 吉田 一康 |  |
| 科目カテゴリー  | 国際ビジネス学科の教養選択科目 | 科目ナンバリング | 22200113 |  |

### 1. 授業のねらい・概要

ビジネスに関係する法律の基本的な事項について、幅広く概略を理解することを目標とします。初めて見る用語が多いかもしれませんが、講義では、できるだけ分かり易く説明します。

アルバイトをしたり、将来、会社に就職する場合、労働法が関係します。商品を買ったり売ったりする取引は民法などが関係します。会社のお金を横領したなどという疑いをかけられた場合は、犯罪について規定している刑法などが関係します。このように、ビジネスに法律知識は必須であり、是非とも知っておかなければならない事項について、できるだけ分かりやすく解説します。また、平成21年から開始された裁判員制度についても説明します。

### 2. 授業の進め方

①50～60分 配布するレジュメに従って、説明や補足をしながら講義を行います。

②30～40分 配布する練習問題に回答してもらいます。また、質問を受け付けます。

### 3. 授業計画

|                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 講義紹介           | 9. 民法（債権）             |
| 2. 法律とは（定義、強制力）   | 10. 労働法               |
| 3. 憲法（ビジネス関係）     | 11. 商法・会社法            |
| 4. 刑法（ビジネス関係）     | 12. スポーツ法             |
| 5. 刑事訴訟（逮捕から裁判まで） | 13. 知的財産法（特許権、実用新案権等） |
| 6. 裁判員制度          | 14. 民事訴訟（訴えたり、訴えられたり） |
| 7. 民法（総則）         | 15. 国際取引法（統一私法等）      |
| 8. 民法（物権）         |                       |

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各講義の内容に関する参考文献の該当箇所を読むこと（1時間程度）。講義後、授業内容を復習して、レジュメ及び練習問題の解答を理解しておくこと（1時間程度）。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

①各講義で行う練習問題の後に、解答及び説明を行います。 ②期末試験の後に、解答例を掲示します。

### 6. 授業における学修の到達目標

①法律の役割や分類について理解すること。 ②「六法」について、基本的な事項を理解すること。

### 7. 成績評価の方法・基準

積極性 20%（受講態度など） ＋ 期末試験 80%（筆記試験）

A 80点以上 B 70～79点 C 60～69点 D（不可）60点未満。

### 8. テキスト・参考文献

毎回、レジュメと練習問題を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のものを挙げます。

①伊藤正巳・加藤一郎編『現代法学入門』（有斐閣双書、第4版、2005）1320円

②末川博編『法学入門』（有斐閣双書、第6版補訂版、2014）1650円

③石川明編『フレームワーク法学入門』（不磨書房、2007）2640円

#### **9. 受講上の留意事項**

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。

#### **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本授業は、不動産会社等における法務の実務経験を活かして指導する。

#### **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。